

大牟田、荒尾市に 月十五日まで。

一日付）をきっかけ

三教室を展開する学 活動は財団法人カ に東日本大震災の被 災地支援に続く、社 類やかばん子ども 習塾の有明塾（倉岡 ンボシア地雷撤去キ ャンペーンが実施し 会貢献活動として参 服、貴金屬、商品券な ジアの子どもを地雷 ているもの。資金は 加を決めた。十九日 ども受け付ける。集 や不発弾の被害から 地雷、不発弾の危険 には支援を求めるチ まった支援品は同塾 守る活動へ が一括して

本紙記事がきっかけ

同人法に届

の協力を呼

ける。同時

び掛けてい

に現地の人

る。換金し

シオ番組で

資金とする

放送される

ために不要

応援メッセ

となったゲ

ージも受け

ームソフト

付けている。

や漫画本などを各教

性を啓発する現地の ラシを全塾生に手渡

付けている。

室で集めている。子

ラジオ番組の制作費 したり、郵送したり

問い合わせは有明

どもも参加できる社

や危険回避教育など した。

塾（電0120・6

会貢献。塾生以外の

に使われる。同塾は

66・211番）

寄付も募っていま

本紙掲載の記事（平 ソフトやゲーム機

へ。

す」と倉岡塾長。七

成二十四年五月三十 漫画本、トレーディ

（江頭 裕一）

地雷被害防止に協力

漫画本などの寄付募る

大牟田・有明塾